

曹洞宗 天祐山 公田院 仁叟寺

## 山雲水月

発行責任者 仁叟寺 住職 渡辺啓司

## 大本山總持寺監院 仁叟寺住職 年頭挨拶



令和7年  
仁叟寺年間行事予定

- 1/1～1/3 年頭祈祷・年賀受  
1/4～1/7 年始挨拶  
1/10 年賀寺例  
2/2 大節分会  
2/15 釈尊涅槃会  
3/9 大般若会/大施食会  
3/17～3/23 春季彼岸会  
3月下旬 観桜供養祭  
4/8 釈尊降誕会(花祭り)  
7/13～7/16 新暦盂蘭盆会  
7月下旬(1泊2日)  
第42回子供禅の集い  
8/10 中元寺例  
8/13～8/16 孟蘭盆会  
9/20～9/26 秋季彼岸会  
11月 檀信徒研修旅行  
12/8 釈尊成道会  
12/10 歳暮寺例  
12/31 除夜会  
※毎週水曜日 定例坐禅会  
※隔週水曜日 梅花講稽古  
※隔週土曜日 華道教室  
※毎月最終土曜日 ヨガ教室

## 敬頌新禧

謹んで令和7年新春の挨拶をさせていただきます。

昨年は大本山總持寺御開山瑩山紹瑾禪師七〇〇回大遠忌にあたり、難値難遇の大法要を石附周行大禪師猊下のお言葉通り「一味同心」全山一如にて、報恩行に取り組んで無事圓成することが出来ました。

今回の大遠忌は、平成27年厳修の峨山韶碩禪師六五〇回大遠忌と併せて「御両尊の大遠忌」として修行され、約十年に及ぶ大遠忌が成就いたしました。改めまして、関係各位に篤く御礼申し上げます。

また、昨年元日に発生した能登半島地震により、大本山總持寺の故郷の地、能登が重ねて甚大な被害を受けました。これから復興に向けて着実に取り組んでいかねばなりません。しかしながら明るい兆しとして、昨年10月18日の文化審議会での答申を経て、12月9日に能登總持寺祖院が国の重要文化財に指定され、国庫補助事業となりました。大本山總持寺はもちろん、国や地元自治体、宗門御寺院様はじめ多くの方々のご理解ご協力を仰ぎつつ、復興への道程が示されたことは、祖院のみならず能登全域の大きい光明となります。

戦争が拡大し、尊い生命が失われ、世界平和が脅かされております。地球環境は、温暖化が加速し、気候変動が深刻な問題になっております。現在、このような多事多難な課題が重なっております。そのような時代にこそ「相承」の名のもとに、御両尊の大遠忌を修行したことは、これから次の時代に、そのみ教えをしっかりと引き継いでいく大切な意味があります。

本年が皆様にとりまして、よき年であることを祈念申し上げ、年頭にあたり新年の挨拶とさせていただきます。合掌



渡辺啓司 監院老師

# 檀信徒本山参拝研修旅行 大本山總持寺大遠忌

令和7年(2025)

大本山總持寺太祖瑩山紹瑾禪師七〇〇回大遠忌  
曹洞宗群馬県宗務所第十四教区本山参拝研修旅行  
令和六年十一月二十四日、仁叟寺渡辺啓司住職が監院老師としてご上山されました。



法燈五百年  
隨意會別格地

# 仁叟寺

T370-2123 群馬県高崎市吉井町神保1295  
TEL.027-387-3080 FAX.027-387-8766  
e-mail:jinsouji@dan.wind.ne.jp URL:<http://jinsouji.net/>



## 「令和7年 仁叟寺カレンダー」より抜粋

昨年11月24日、仁叟寺住職が監院職をつとめます大本山總持寺様へ、曹洞宗群馬県宗務所第14教区主催にて研修参拝旅行に伺って参りました。現在、副住職は多野藤岡地区を中心とした第14教区長を、また仁叟寺矢島正義総代長は、同教区護持会長をつとめております。

昨年は、大本山總持寺を開かれた太祖瑩山紹瑾禪師様の七〇〇回大遠忌にあたる勝縁の年であり、国内外より多数の方々を受け入れました。このまたとない機会に、当教区にて研修旅行を企画したところ、10箇寺83名もの多くの方々より参加のお申し込みがあり、大型バス2台にてご本山様に伺わせていただきました。

ご法要は、神流町千手寺住職であり本山副典の長尾靖樹老師御導師による拜登諷経が行われ、引続き、参加されました皆様方の先祖供養である総諷経は渡辺啓司監院老師を御導師として莊厳につとめていただきました。また大本山總持寺貴首、石附周行大禪師猊下にご拜問する素晴らしい機会にも恵まれました。昼のお食事である点心は、典座というお役の修行僧方が、丹精を込めて作られた精進料理の御膳を頂戴いたしました。

また昭和の大スター石原裕次郎さん、アントニオ猪木さんの墓参の他、帰路には多くの人々で賑わう横浜赤レンガ倉庫にも立ち寄り、好天の中、よき研修旅行を修行することが出来ました。

ご参加されました皆様に感謝申し上げ、本年は通常とおり、仁叟寺龍源寺主催にて日帰りの研修旅行を企画いたしますので、是非ふるってのご参加を宜しくお願ひ申し上げます。

## 自らを洲とする ~東日本大震災被災地支援~

昨年11月26日～27日に掛けて、東日本大震災被災地域である福島県の相馬市及び南相馬市に伺って参りました。今回も恒例となった物故者慰靈法要を南相馬市新祥寺様本堂に於いて修行。ほか、甚大な津波被害を受けた相馬市松川浦の慰靈碑前にて供養をいたしました。

また奉仕作業は、新祥寺野田精顕住職と当山副住職ほか群馬県曹洞宗青年僧有志計11名で、被災地域である南相馬市小高地区にて行いました。被災地での依頼区域にて、震災前に地域住民で植樹した河川敷の桜並木周辺の除草作業等を福島県群馬県両県若手僧侶が力を合わせ行い、皆と共に汗を流しました。

風化させることなく、出来る人が出来る時に出来る事を行う。引き続き、これからも微力ながら、ご協力をさせていただければと考えております。



福島県南相馬市新祥寺様での慰靈法要 同小高地区での奉仕作業風景と集合写真

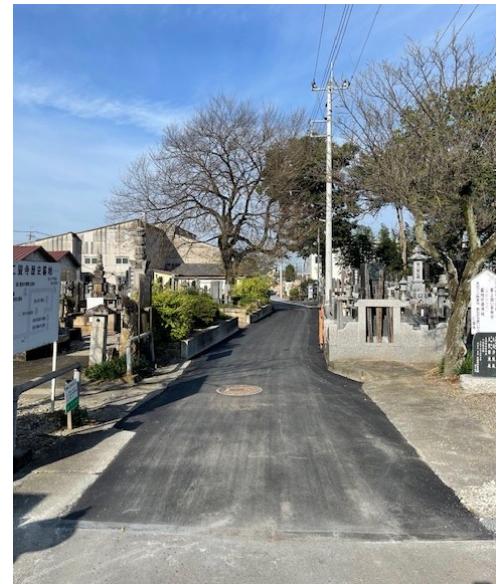
### 仁叟寺参道 舗装工事 完了報告

一昨年3月に公道部分を高崎市により、その後、8月盆前に駐車場部分を当山にて、舗装工事を行いました。

その後、高崎市の第二期工事として、当山



整備された仁叟寺参道



から東京精密管株式会社まで続く参道の整備舗装工事が、昨年10月に無事完了いたしました。駐車場と含め長年の懸案であった参道等の整備が無事になされましたこと、有難く茲にご報告申し上げます。参道は現在の県道71号線の旧道でもあり、歴史的にも大切な道路です。法要や行事、墓参等では是非ご活用いただければと思います。

## 総代長 新年挨拶

新年明けましておめでとうございます。本年も宜しくお願い申し上げます。

令和3年10月に、仁叟寺ご住職が大本山總持寺監院を拝命して、早くも三年以上が過ぎました。その間、宗教法人大本山總持寺の責任役員はじめ鶴見大学・高等学校・中学校の学校法人總持学園理事長、總持寺保育園等の社会福祉法人諸岳会理事長等々、多くの重責を担い活躍されております。特に昨年は、監院老師の最も重職である瑩山禪師様の七〇〇回大遠忌法要が、宗門を挙げて執り行われました。そこで、恒例の仁叟寺研修旅行は、第14教区の皆様と共に、五十年に一度の瑩山禪師様七〇〇回大遠忌法要の大本山總持寺様に伺うことが出来ました。詳しい内容は、三木総代人が寄稿されております。

昨年10月、文化審議会は、石川県輪島市の總持寺祖院を国の重要文化財に指定するよう文部科学省に答申しました。總持寺祖院は、明治の大火で横浜市鶴見に移転した大本山總持寺のもとの地に再興されました。曹洞宗の源流といつても過言ではない、重要な歴史ある寺院です。平成19年の能登半島地震で被災し、13年以上掛けて耐震補強を含む修復工事を施し、落慶をしたばかりでした。ところが、昨年元日に再度発生した地震の被害は甚大で、多くの建築物が再度被災しました。更に9月には豪雨災害が能登半島を襲いました。このような情勢の中、監院老師は、

筆者・矢島正義  
元群馬県宗務所護持会長  
総代長



何度も能登に通い、状況を把握し、全国の寺院始め国や自治体等に祖院の復興を真剣に働きかけました。今回の總持寺祖院の文化財指定についても、監院老師のご尽力が大なるものであったと思われます。ご住職が監院老師として、このようにご活躍出来るのも、龍源寺住職である仁叟寺住職代行、長野県佐久市の信永院住職、監院老師の奥様である寺族の方々、更には檀信徒各位、総代人役員の皆様のご理解と信頼関係があつてのことと存じます。

最後に、仁叟寺もみじ山が、役員さんの草刈り作業等のご協力により、素晴らしい里山になって参りました。これからも、皆様のご協力をお願い申し上げます。合掌

### 仁叟寺総代人一同

矢島正義	酒井範明	森 久
向井敏昭	斎藤悦男	篠崎正道
神宮光信	酒井忠夫	三木文明

#### 檀信徒の皆様へ

住所等の変更がありましたら、必ず菩提寺までご連絡を下さいよう、お願いいたします。

## 行雲流水（編集後記）

編集人 住職代行 渡辺龍道

令和7年乙巳歳の年頭に当たり、謹んでお慶び申し上げます。

師匠である当山住職が大本山總持寺監院として上山され、既に3年以上が経過しました。太祖瑩山紹瑾禪師七〇〇回大遠忌も圓成し、總持寺祖院始め能登の復興についても、ご尽力されていると伺っております。

仁叟寺また住職地の龍源寺は、地域や檀信徒の皆様方と共に歩みを前へ進ませていただいております。当寺報等で、その詳細が少しでも伝われば幸甚です。本年も何卒、宜しくお願い申し上げます。合掌（龍）

番犬キナコ



## 参拝研修旅行報告～大本山總持寺～

令和6年11月24日、仁叟寺より大型バス2台で、太祖瑩山紹瑾禅師七〇〇回大遠忌の法縁にあたり、参拝研修旅行に行ってきました。日曜日で高速道路はじめ交通もスムーズに大本山總持寺に到着。大迫力の三門と仁王像を間近に見ながら香積台の前にバスは着き、中に入ると大きなしゃもじとすりこ木棒。三松閣で一息ついで、木彫りでは日本一の大きさを誇る大黒天様の前で合掌一礼し、きれいに磨かれた百間廊下を歩くと中雀門、右に仏殿、左に向唐門、見事なまでの屋根の曲線と彫刻の素晴らしさ。大僧堂は、毎日の坐禅の修行道場だそうです。そして一般のお寺では本堂にあたる中核の大祖堂。中は千畳敷の広さ、まばゆいばかりの大天蓋、天井には二重三重の枷組と彫刻、どこを見ても、目を見張るばかりです。

そこへ渡辺啓司監院老師のご入場。瑩山禅師へのご法要とご焼香。引き続き、檀信徒各位の先祖供養法要とご焼香。若い修行僧の読経と無駄のない動きに驚きです。記念写真を撮り、紫雲臺へ。若い時に大本山に伺った際には、夢中で参拝しましたが、今回は年を重ねて二度目の大本山参拝。しかし、本日だけで何十回と手を合わせたか、人生で初めてだと思います。

渡辺啓司監院老師の「ここでは人を育て、日本中の寺に送り出しているんですよ」という言葉に感激しました。最後に、御老師に於かれましては、いつまでもご健康でありますように、また檀信徒皆様方のご平安を祈念いたします。

## 第41回子供禅の集い圓成

昨年7月31～8月1日にかけて、第41回仁叟寺子供禅の集いが行われました。コロナ禍の為、令和2～3年を中止とし、一昨年からコロナ禍を乗り越え、宿泊形式で開催。本年も夏休み中に、第42回となります子供禅の集いを行う予定です。

小学3～6年生を対象とし、禅と自然に親しみ、仁叟寺に於いて1泊2日の体験修行をいたします。40年以上の歴史がある禅の集いです。対象の方がおられましたら、是非お声掛けいただき、ご参加下さい。



寄稿  
三木文明総代人



終了式後の記念集合写真

令和七年  
年回表

一周忌	令和六年	二十三回忌	平成十五年
三回忌	令和五年	二十七回忌	平成十一年
七回忌	平成三十一年 令和元年	三十三回忌	平成五年
十三回忌	平成二十五年	五十回忌	昭和五十一年
十七回忌	平成二十一年	百回忌	大正十五年 昭和元年

※1 以上、各ご家庭に於いてご確認下さい。

※2 該当檀信徒各家には、封書にて通知が届きます。

(但し、五十回忌・百回忌を除く)

# 梅花流詠讃歌スマイルアゲイン梅花の集い開催



フィナーレ 梅花講讃歌合唱

自然災害被災物故者追悼法要

群馬県で初めてのスマイルアゲインつどいは、大本山總持寺監院渡辺啓司老師のご自坊での開催でした。先般ご本山開催『太祖瑩山紹瑾禪師七〇〇回大遠忌慶讃・瑩山禪師さまを慶祝する梅花講員の集い』につきまして大変お世話になりました。今回のつどいは曹洞宗群馬県宗務所所長橋本恵一老師はじめ職員の皆様、地元の師範の皆様のご理解とご援助で明るく楽しい集いでした。スタッフの協力にも心より感謝申上げます。令和六年元日発生の能登半島地震から、復旧・復興の一助の想いで計画しました今年のつどいの参加人数は、三月滋賀県正傳寺・静岡県總善寺さま、四月神奈川県大林寺さま、五月長野県長興寺さま、六月静岡県三光寺さま、七月北海道大覚寺さま、今回の仁更寺さま（四十七名）のご参加を併せて七百二十九人となりました。この度のつどいで曹洞宗義援金九六、五六六円、大本山總持寺祖院復興支援金四七、〇〇〇円、現地対策本部募金箱（曹洞宗石川県宗務所設置）二五、〇一〇円（納経料含む）を拝受しました。今後も支援の梅花講活動を継続する所存です。ご協力下さりましした皆様方に心より感謝申し上げ、ご報告と致します。有り難うございました。

文責 滋賀県 實宰院  
大河内 徹成 合掌

自然災害被災物故者追悼法要  
寺祖院復興支援金四七、〇〇〇円、現地対策本部募金箱（曹洞宗石川県宗務所設置）二五、〇一〇円（納経料含む）を拝受しました。今後も支援の梅花講活動を継続する所存です。ご協力下さりました皆様方に心より感謝申し上げ、ご報告と致します。有り難うございました。

スマイルアゲイン梅花のつどい 令和六年十一月十四日 会場 群馬県 仁更寺さま

▽曹洞宗の御  
歌から復興を祈願する  
スマイルアゲイン 梅花  
のつどいが14日、高崎市  
の仁更寺（渡辺啓司住職）  
で開かれ、県内外から参加  
した約50人の僧侶や信徒  
が詠唱や法要を行った。写

真



復旧工事が進む龍源寺墓地 Page 4

- ①スマイルアゲイン事務局によるご報告  
②スマイルアゲイン上毛新聞記事（11/15付）

## 龍源寺人災報告 ～墓石塔復旧工事完了～

令和元年10月12日、龍源寺の境内地及び墓所に甚大な被害をもたらした人災は、総代人役員を中心とする檀信徒、被災檀信徒、地元区長を中心とする地域住民、担当する石材店、寺院団体等関係各位等が一丸となり、復旧に向けて歩みを前に進めております。

発生から5年以上経過しましたが、ようやく一昨年に裁判は終結し、ほぼ当山原告団の主張通りの結果となりました。紆余曲折はありましたが、復興作業も昨春から鋭意進めており、昨秋には墓石塔が、本年4月には再発防止を含めた全ての工事が完了する運びとなりました。よき報告が出来ますことに感謝です。

## 大般若会大施食会 ゲッペルト昭元老師講演会

仁叟寺恒例の大般若会大施食会法要、本年は3月9日、日曜日13時より修行いたします。一昨年はウクライナ復興支援、戦争終結を祈念し、ウクライナの民族楽器バンドゥーラの第一人者である奏者、カテリーナさんにご来寺いただき、演奏会を行いました。昨年は、住職の実弟であり東洋大学名誉教授の渡辺章悟先生による大般若経についての講演会をいたしました。

本年は、青い眼をした禪僧ゲッペルト昭元老師にご来駕いただき、ご法話をいただきます。老師はドイツのご出身。現在は、能登半島石川県羽咋市の観音寺住職であり、令和5年より大本山總持寺の国際部主事兼参禪室担当の役寮として任に当たられております。平成14年より大本山總持寺祖院に安居。10年以上の修行生活ののち、現在は寺院住職と併せ、大本山總持寺において修行僧や参禪者に禪の道を教える指導僧になられました。

昨年元日に発生した能登半島地震では、昭元老師が住職をつとめる寺院も大きな被害を受けました。能登復興の支援につなげる思いも含め、本年は法話の会を企画いたしました。

またとない機会であり、江戸時代から続く大般若会、施食供養会法要の当山恒例伝統行事とあわせ、足をお運び、耳を傾けていただければ幸いです。



ゲッペルト昭元老師近影

本年2月2日（日）の仁叟寺大節分会は、コロナ禍を乗り越え、昨年に引き続き、恒例の豆撒きを行う予定です。ちびっ子節分会も行い、キッチンカーの出店、演奏会等も予定しています。地域の伝統行事へ、ふるってのご参加をお待ちしております。合掌

※本年は2月2日が節分会となります※



## 各種教室について 坐禅会・梅花講・ヨガ教室

仁叟寺の坐禅会は、平成14年より欠かさず続いているおり、毎週水曜日午後7時よりの定例坐禅会のほか、各種団体組織による参禅会があります。コロナ禍により参禅会をされる団体は減少しましたが、一昨年より社会活動の回復の兆しと同様に坐禅会も増加傾向にあります。

梅花講は、隔週水曜日午後1時30分より稽古があり、寺族である渡辺恵津子梅花流一級詠範が指導しています。現在講員さんは20名ほどで、仁叟寺龍源寺の行事はもちろん県大会や全国大会等、精力的に活動しています。老若男女問わず入講を歓迎しております。

ヨガ教室は、毎月最終土曜日の午後4時より約一時間、本堂にて開催しています。令和元年秋より始まり、講師はヨガインストラクターのM I NAM I 先生。参加費500円とヨガマットまたはバスタオル1枚で参加でき、初心者も大歓迎です。

ほか仁叟寺華道教室（草月流）も随時開かれております。興味関心のある方は、当寺までお問い合わせの上、ご参加ください。



仁叟寺ヨガ教室風景

## 里山再生事業 もみじ山仁叟寺古墳公園整備



仁叟寺の竹林を整備し、地元と檀信徒の方々のご協力をもって行っております高崎市の補助事業、里山元気再生事業は平成30年度末で期間満了となりました。伐採した竹林は既に7,000本以上。その跡地に、モミジやサクラおよそ300本を植樹し、小沢昇様と矢島正義総代長により参道脇に多くの山野草や福寿草のほか、多くの方々より寄贈された紫陽花を植栽。ほか森久総代人より水仙球根とムラサキツツジを多数頂戴し、山頂付近に植え、彼岸花やツツジ等も有志の皆様方よりいただき、それぞれ植栽いたしました。

高崎市補助事業は既に終了いたしましたが、引き続き昨年も6月9日、8月26日、9月29日の合計3回に亘り、総代人世話人有志にご協力いただき、下草刈りや篠竹刈り等の作業を行い、共に汗を流しました。

また井上洋様より三波石、多胡石材産業株式会社より銘石を頂戴しました。酒井商事に依頼し、景観に考慮し、もみじ山古墳公園に相応しい場所に配置いたしました。

当地には、歴史を物語る古墳群も遺されており、高崎市教育委員会による調査も数度に亘り入り、一昨年8月には高崎市史跡に指定されました。境内全景や上毛三山、吉井市街等が見渡せる風光明媚な場所。関係各位のご尽力のもと、里山再生「仁叟寺もみじ山歴史古墳公園」に向けた整備が、着々と進めております。引き続きのご理解ご協力をお願い申し上げます。

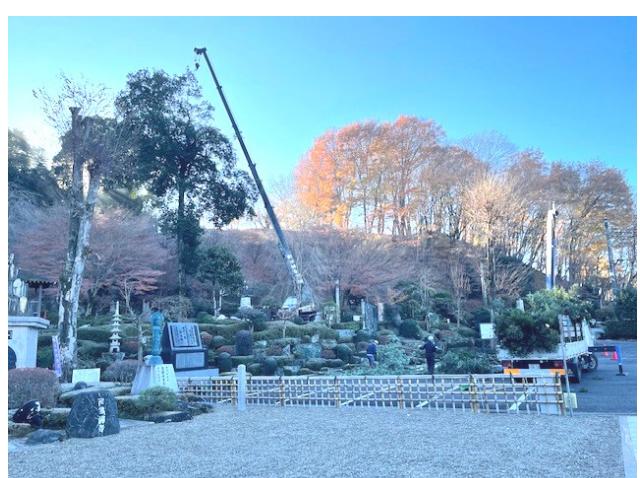
### 境内樹木環境整備報告



当山境内及びもみじ山古墳公園周辺での樹木、特に外来樹であり根の浅いアカシアの危険木伐採を含めた環境整備作業を、昨年も精力的につとめさせていただきました。作業は、斎藤桐材店や鈴木昌邦氏はじめ多くの関係各位にご尽力いただきました。

本年も引き続き、環境整備作業に力を入れ、植樹したもみじや山野草等の養生に取り組む予定です。危険木の伐採作業が終了致しましたら、もみじ等の植樹を行い、本来の里山風景に再生したく存じます。ご協力をお願い申し上げます。

もみじ山古墳公園での環境整備風景



境内に於ける環境整備作業の様子